早期景気観測調査

【4-5月期 調査結果概要報告書】

◆調査要領

1. 調査の目的: 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査

として中小企業の明日の経営活動に資する。

2. 調査実施機関: 甲府商工会議所

3. 調査実施時期: 令和2年5月15日(金)~5月29日(金)

4. 調 査 対 象: 当所会員133事業所

5. 調 査 方 法: ファクシミリによるアンケート方式

6. 有効回答数: 85件

7. 有効回答率: 63. 9%

8. 特 記 事 項: 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【4-5 月期の動き】

全体業況は4期連続悪化。 向こう3ヶ月の業況は改善の見通し。 ただし、実態はほぼ横ばい。

4-5月期の全業種総合の業況DIは、<u>▲83.5</u>(前期比▲17.5ポイント)と4期連続悪化となった。採算DIは4期連続悪化となり、従業員DIは3期連続、売上DIは2期連続の悪化となった。一方で、金融貸出しDIは3期連続改善となった。

向こう3ヶ月の先行き業況は、改善する見通し。ただし、悪化から不変への変化が主因なため、 実態はほぼ横ばい。

業種別では、前期と同様に全ての業種が悪化となった。

製造業の業況DⅠは▲70. 6(前期比▲14. 1ポイント)と悪化となった。

○悪化→従業員DI、仕入単価DI O改善→売上DI、採算DI、金融貸出しDI 向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

建設業の業況DIは▲42.9(前期比▲19.4ポイント)と悪化となった。

○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○改善⇒仕入単価DI、金融貸出しDI 向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

卸売業の業況D I は▲100.0(前期比▲21.1ポイント)と悪化となった。

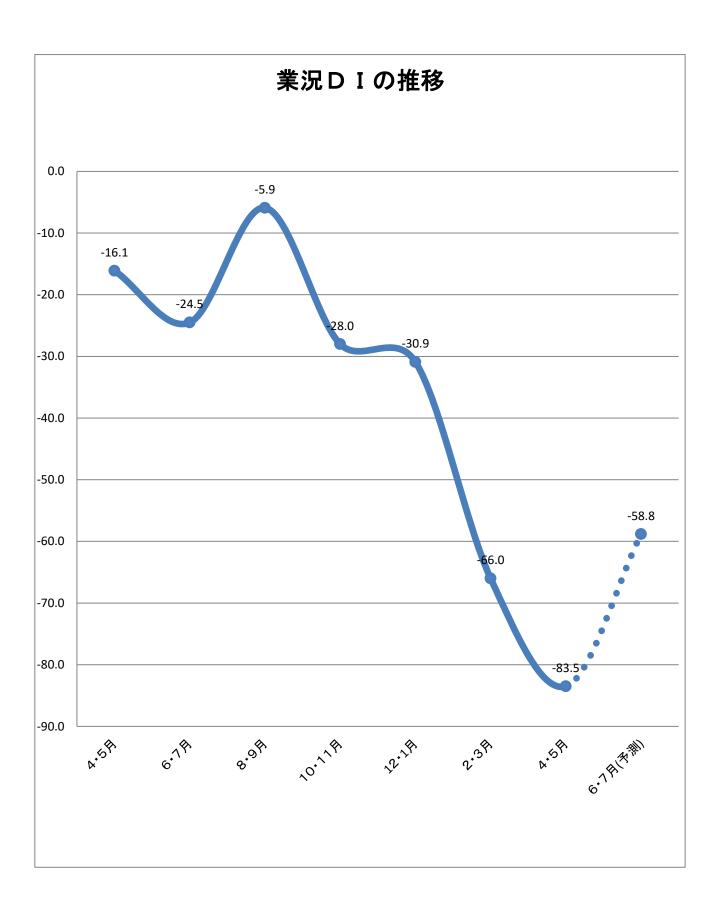
○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○改善⇒仕入単価DI、金融貸出しDI向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

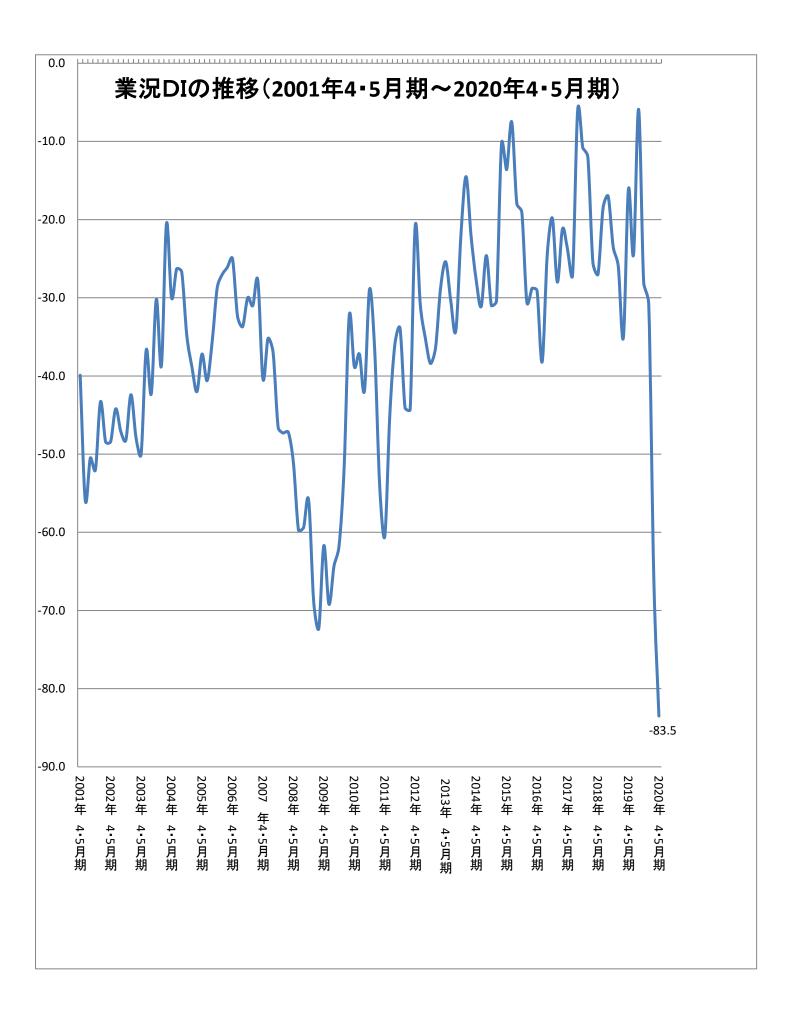
小売業の業況D L は▲95. O (前期比▲18. 8ポイント) で悪化となった。

○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○改善⇒仕入単価DI、金融貸出しDI向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは▲100.0(前期比▲5.9ポイント)と悪化となった。

○悪化→売上DI、採算DI、従業員DI、仕入単価DI ○改善→金融貸出しDI向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。





◆全業種·業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回DIに比べて(先行は今回実績値に比べて)							
改善	不変	悪化					
DI値	DI値	DI値					

※仕入単価DIは、仕入単価が下落した場合、「◄」(改善)と表示しております。 従業員DIは、従業員が不足している場合、「◄」(改善)と表示しております。

◆ 全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 83. 5	▲ 58. 8	▲ 78.8	▲81.2	▲ 16.5	▲ 10.6	14. 1

4-5月期の全業種総合の業況DIは、▲83.5(前期比▲17.5 ポイント)と 4 期連続悪化となり、前期と同様に大幅な悪化となった。

- ○今期より悪化⇒仕入単価D I (▲13. 4→▲16. 5)
- ○2期連続悪化⇒売上D I (▲67. ○→▲78. 8)
- O3期連続悪化⇒従業員DI(1.0→▲10.6)
- ○4期連続悪化⇒採算DI(▲63.9→▲81.2)
- ○3期連続改善⇒金融貸出しDI(1.0→14.1)向こう3ヶ月の先行き業況は、▲58.8と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 70. 6	▲ 58.8	▲ 58.8	▲ 64. 7	▲ 29. 4	▲ 11.8	11. 8

業況D I は▲70. 6 (前期比▲14. 1ポイント) と悪化となった。

項目別

- ○今期より悪化⇒仕入単価DI(4.3→▲29.4)
- ○2期連続悪化⇒従業員DI(▲8.7→▲11.8)
- ○今期より改善⇒売上DI(▲60.9→▲58.8)、採算DI(▲65.2→▲64.7)、
 金融貸出しDI(▲8.7→11.8)

向こう3ヶ月の業況は、▲58.8と改善する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 42. 9	▲ 64, 3	▲ 50. 0	▲ 35. 7	▲ 28. 6	21. 4	7. 1

業況D I は▲42. 9 (前期比▲19. 4 ポイント) と悪化となった。

- ○2期連続悪化⇒売上DI(▲35.3→▲50.0)
- 〇4期連続悪化⇒採算DI(▲35.3→▲35.7)、従業員DI(29.4→21.4)
- ○今期より改善⇒仕入単価D | (▲41. 2→▲28. 6)、金融貸出しD | (0. 0→7. 1)
 向こう3ヶ月の業況は、▲64. 3 と悪化する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
1 00.0	▲ 55. 0	▲ 95. 0	1 00.0	0. 0	▲ 10.0	20. 0

業況D I は▲100. O(前期比▲21. 1 ポイント)と悪化となった。

項目別

- ○2期連続悪化⇒採算DI(▲57.9→▲100.0)、従業員DI(10.5→▲10.0)
- ○3期連続悪化⇒売上DI(▲84.2→▲95.0)
- ○2期連続改善⇒仕入単価D I (▲5. 3→0. 0)、金融貸出しD I (10. 5→20. 0)向こう3ヶ月の業況は、▲55. 0 と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 95. 0	▲ 55. 0	▲ 90. 0	▲ 100.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5. 0

業況DIは、▲95. O(前期比▲18. 8ポイント)と悪化となった。。

- ○今期より悪化⇒従業員DI(14.3→▲10.0)
- ○2期連続悪化⇒売上DI(▲71.4→▲90.0)、採算DI(▲76.2→▲100.0)
- ○今期より改善⇒仕入単価DI(▲23.8→▲10.0)
- ○2期連続改善⇒金融貸出しDI(4.8→5.0)向こう3ヶ月の業況は、▲55.0と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
1 00.0	▲ 64. 3	▲ 92. 9	▲ 92. 9	▲ 21. 4	▲ 42. 9	28. 6

業況D I は▲100. O(前期比▲5. 9ポイント)と悪化となった。

- ○今期より悪化⇒仕入単価DI(▲5.9→▲21.4)
- ○2期連続悪化⇒売上D | (▲82. 4→▲92. 9)、採算D | (▲82. 4→▲92. 9)
- ○3期連続悪化⇒従業員DI(▲41.2→▲42.9)
- ○今期より改善⇒金融貸出しDI(0.0→28.6)向こう3ヶ月の業況は、▲64.3と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業(工業製品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業(宝飾)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業(建築)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業(土木)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業(鉄鋼)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

卸売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

卸売業(繊維)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

卸売業(その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業(大型店)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業(食料品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業(事務用品)



小売業(趣味・日用品)



小売業(家電)



サービス (ホテル・旅館)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業(観光)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業 (飲食その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

中小企業の声(現状や直面している課題等)

【製造業】

製造業(食品)

・主な販路であるホテル・ブライダル・観光・飲食店・百貨店がほぼ休館・休業だったため、過去に例のない悪化状況。

製造業(工業)

- ・新型コロナウイルスの影響で経済活動が低下しているが、特に海外売上の減少の影響が大きい。 製造業(宝飾)
 - ・展示会、催事の中止や県外への移動自粛などにより、売上が大きく減少している。

製造業(ニット・アパレル)

• 今後の売上は、デパート売り場の来客復帰次第である。

【卸売業】

卸売業 (食品)

- 新型コロナウイルスの影響により売上が半減している。
- 新型コロナウイルスの影響で売上が減少し、今後回復するとしても収束するまでは正常に戻るとは考えにくい。

卸売業(その他)

新型コロナウイルスの影響が営業活動に出ている。

【建設業】

建設業(建築)

今のところ新型コロナウイルスの影響は大きくないが、今後の設備投資が落ち込むと徐々に影響が出てくると予想される。

建設業(土木)

新型コロナウイルスの影響により、民間工事の工事中止、延期が発生しているなど、先行き不透明な状況にあり、悩まされている状況にある。

【小売業】

小売業 (食料品)

ブライダル、観光に関連した仕事の為、新型コロナウイルスの影響が大きい。

小売業(趣味・日用品)

• 不要不急の外出自粛により、店を開けることが罪のような雰囲気になってしまった。

【サービス業】

サービス業 (ホテル・旅館)

- ・新型コロナウイルスの影響により、休業せざるを得ない状況になっている。
- サービス業(観光)
 - ・県境を越えた人の移動、イベント等の再開が不透明なため、厳しい状況。
- サービス業 (飲食その他)
 - ・国、県からの飲食、外食の営業自粛要請で、店の存続が危険になっている。

以上